

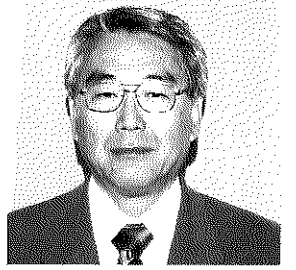
労働保険事務

おまかせ下さい

—(社)大森工場協会—
—労働保険事務組合—

社団法人 大森工場協会 会報

第70号
平成24年1月1日
発行 大森工場協会
編集委員会
東京都大田区中央2-11-10
TEL 03 (3771) 4744
印刷 城南印刷工業株式会社
TEL 03 (3752) 3391



年頭の辞

社団法人大森工場協会会長
(株)昭和製作所 代表取締役

舟久保利明

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様にはお元気で越年されたこととお慶び申し上げます。

さて昨年は国内においては東日本大震災、原発事故、エネルギー問題、財政・外交、円高・海外においてもギリシャ発欧州財政・金融危機、米国景気停滞、タイ洪水被害等国内外多くの問題を抱え先々不透明感が募りつつ新年を迎えました。

長引くデフレ経済による低成長、円高等大企業の業績低迷の影響は合理化、コスト削減に繋がり、中小企業の経営環境は厳しさを増してきています。さらに少子高齢化現象、年々経営者の高齢化が進むにつれ後継者不足を理由に廃業する中小企業も増える傾向にあります。まして中小企業の消滅は街の形を変えるばかりでなく、雇用の減らし、技術力が衰退することにもなります。

ずっと以前から、大田区のもの作りの中小企業の経営者の後継者問題が言われています。しかし、そのこと以前に、企業存続の意義を論じることがないように思えます。そもそも企業とは、自助努力であれ、他人からの援助によるものであれ、社会に必要とされるから存在しているのですから。

一般的に言って、大企業の場合、その存在意義が薄れた場合、即ち売上げが減少傾向になった場合、生き残るためには、製造原価の引き下げ努力あるいは業種転換を含む新製品の開発が必須です。

他方、大田区のもの作り企業は元来下請け企業として発展してきた経過があり、中国市場の開放等によって日本経済の空洞化が惹起された直後、その数は激減したことはよく知られた事実です。自社商品を持たなくとも、待ち工場、

でよかった時代は過ぎてしまったといつてよいと考えます。特に下請け企業のうち5人以下の零細企業数がこの数年猛烈な勢いで減っています。

その中で、下請け企業は基本的に、従来の取引相手に対し、品質・価格・納期・サービスのあらゆる側面行内容を変えらるか、インターネットや大田区等の受発注商談会を利用して新しい取引相手

を探すとか、自社製品の開発に乗り出すかのいずれかの選択を迫られるわけで、そのどれもせずに従来の通りの経営を続けていた企業が自然に廃業していったわけです。従って、自社を取り巻く環境の変化を認識し、これまで培った技術をいろいろな意味合いにおいて発展させようとする中小企業のみが後継者に関して重要な問題となってくるわけです。

何事もまず情報が必要で、座しているは何事も進みません。協会のできることは、地域の仲間意識から出てくる様々な問題を協会会員の皆様と議論し、解決しようとする場を作ることである、と考えます。協会の活動にとつて、協会側からではなく、協会会員の皆様からの様々な要望が必要なのです。

後継者の問題に関して、その意味で、自社努力では限界があるという判断があるならば、ぜひ相談に訪れてほしい、そのことを皆様方と一緒に考えていくことが、この組織を生み出した我々の先輩が残したこの大森工場協会という組織の目的の一つでもあったのだと思つこの頃です。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康を祈念申し上げ、年頭のご挨拶に替えさせていただきます。



謹賀新年

平成二十四年 元旦

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

社団法人 大森工場協会

会長

舟久保利明

副会長

竹内栄多

木村洋一

森崎眞洋

理事

伊藤裕敏

上田大輔

川村有史

関輝武

竹内康晴

丸山昌輝

柳沢重幸

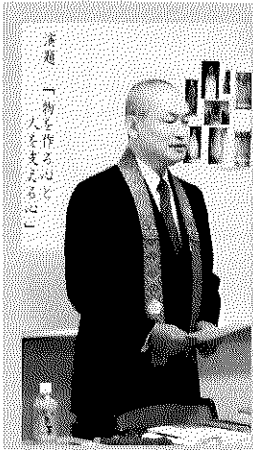
渡辺美仁

監事

平林孝博

神崎国雄

「物を作る」と 人を支えるところ



大田文化の森
平成23年10月25日

主権 社団法人 大森工場協会

(社)大森工場協会では去る十月二十五日(水)午後六時三十分より大田文化の森四階第二集會室にて講師真言宗智山派、蜜乗院須佐 知行住職をお迎えし「物を作る」と、人を支えるところ」のテーマで講演を行いました。

須佐住職は地元大森の出身、昭和二十三年六月生れの六十三歳、二十二歳の若さで住職に就きました。当日講演会には多数参加され、皆さん真剣に耳を傾けておられ、大変有意義な講演内容でした。本号よりレジメ内容を連載にて会員の皆様にご紹介させていただきます。

本日は、社団法人大森工場協会よりお声をかけていただき、協会の役員の皆様、経営者の諸先輩を前にして、お話をさせていただく機会を設けていただきました。誠に有り難く感謝申し上げます。

以前にもお話をいただいたことがございましたが、到底私にとまることではないので、その時はお断りさせていただきました。木村理事様の必要な攻撃に屈しまして、自分の能力も立場も考えず、お受けした次第でございます。

皆様のようには、社会の最前線で企業を運営されておられる社長様方に、小寺の住職がお話できることは限られており、ピントの外れたお話になってしまうのは分かっていることですので、まずもって皆様にお許しを乞うておきます。

簡

昭和二十三年生まれの六十三歳でございます。大森中二丁目でございます。真言宗の密乗院の住職を勤めて四十一年になります。小学校の二年生の時に川崎市の

寺から大森に移り住みました。大森第一小学校の二年生で木村洋一君に出会い、六年生までずっと同じクラスでした。大森第八中学校の三年でまた同じクラスになりました。その後は離れ離れになってしまいましたが、木村さんはエンジニアの道に、私は寺を継がなかった兄の後釜で僧侶になりました。

住職になってしばらくして、木村さんが、当山の檀家さんの娘さんと結婚されました。ご法事のたびにまたお会いするようになりました。これもご仏縁というのでしょうか。この仏縁がなかったら、本日このようにして、皆様の前で恥をかかずにすんだのにと悔いております。

今

今日は、貴重なお時間をいただいて、皆様の前でお話をさせていただく訳ですが、寺といふところは、皆様のお仕事のように日々生産性を高める仕事とは正反対の、全く生産性のない仕事ですけれど、それでいて地域に密着した環境にあります。

大森は皆さんも存知のように、東京オリンピック開催の前年まで、三百年にも亘って地場産業として海苔業で潤っていました。高速道路などの都市化が進み、海苔漁をする海苔漁はますます悪化して、ついに漁業権を放棄せざるをえなくなりました。当時出された保証金が漁民にとって生活を奪われた本当の代償になっていたのかどうか、当事者でなければその苦しみは理解することはできません。海で生計を立てていた者が、生活手段を奪われ突然陸上になって生活しなければならなくなってしまうのです。それは今から五十年前のことでした。五十、六十代の人たちは、それなりに納得して陸上上がったようでしたが、中学を卒業してすぐに家業の海苔漁を手伝っていた若い人たちは、大きな不安とショックを感じて、将来の生活設計も立てることができない状態だったようです。

そんな中、苦境に立ち向かう大森の「海苔や魂」が発揮されて、新しい職場でサラリーマンになったり、公務員の仕事に付いたり、保証金でアパートを建てたり、工場を建てて工場経営に乗り出した人。希望を失った時代に、少しずつ希望の光が射し始めてきました。午前二時、三時から響いていた海苔切りの包丁の音が消えて、大森の町には工場土音の響き始めた時代でした。そうして大森に再び活気が戻ってきた時代でもありました。

昭

和が平成の時代に代わって、バブルがはじけると、幾度も厳しい不況を乗り越えてきた地元企業の企業にとっても、また新しい試練が降りかかってきました。

日本を支え続けてきた企業は日本国内だけに留まることはできず、海外生産に頼らねばならなくなってきました。その企業を脅かす円高だけでなく、いくつもの難題を日本が被っていました。

東日本大震災の復興も遅々として進まぬ今、日々国際競争をしている企業にとって、日本全体の存続に関わる、環太平洋経済連携協定(TPP)、自由貿易協定(FTA)の対応にも、一歩も二歩も日本は遅れをとっている。米国の場合、TPPやFTAなどの国益に関する問題に関しては、超党派でスピーディーに結論を出して、国際競争に対処している。日本の議会では旧態依然の議会政治のままで、とても世界情勢、経済情勢の急激な変化に追いつけず、日本のあらゆる産業にとって、舵取りの定まらない「日本丸」の行方へはどこへ。

先

先日、アップル社の創業者のステイブ・ジョブズ氏が五十六歳で亡くなりました。私はパソコンも携帯電話も持っていないので、彼の世紀的な恩恵に浴びておりませんが、でも彼の世界的な業績と偉大さは、それを使っただけの者でも分かります。

もう二十五年以上も前のことですが、アップル社の「マッキントッシュ」と深く関わった人で知人の池田友也という人がおりました。彼は東京芸術大学のデザイン科を卒業して、「Mac書道」「頭脳絵巻」をデザインしてアップル社の素晴らしい商品の発売に関わった人でした。一九八九年にカリフォルニア州バークレーに渡って、ゲームソフトの翻訳、デザイン、企画の仕事をしたが、創作活動を続けておりましたが、ころざし半ばの三十九歳の若さで惜しくも亡くなりました。日本文化の造詣の深かった若き日のジョブズ氏が、「Mac書道」の製作に、若き日の池田のセンスと技量に惚れ込んで依頼したものだと思えます。

「Mac書道」のアメリカ版ソフトは、桐箱に入ったものでとても評判になったようです。これもジョブズさんと池田さんのセンスの良さから生まれた商品だったのでしょうか。

池田さんの仕事で、寺に未亡人からご寄贈を戴いたコンピューターで製作した釈尊三休像があります。この作品は、一九九九年に天王洲セントラルタワーで開催された彼の遺作展に出品されたものです。展覧会でこの作品を見たときに、この作品が欲しくなりました。コンピューターならば何点も同じ作品を作れるのではないかと思っただけでした。

会場でお話していると、すまなそうに、「アトリエにあった全ての資料やソフトをオークランドの山火事で焼いてしまったもので、それができな

いんです。これは本人が作品にして実家に残して置いたもので、アメリカへは持っていかなかったもので難を逃れました。もう二度と作れぬ作品です」

おそらくコンピューターで作られた世界で初めての「釈尊像」だった筈です。今でもコンピューターでは、誰も「釈尊像」を作ってはいないと思えますが、たとえ誰かが作ったとしても、トモヤ・イケダが作った「釈尊像」を越える人は誰もいないと思っています。「たった一点しかない作品ですので、手許に置きたいのです」

そうおっしゃっていたのに、展覧会終了後、私の願いが叶って、寺に寄進していただけた朗報が奥様から届いた。作品が寺に納められたその日から、コンピューターで製作されたトモヤ・イケダの「釈尊三休像」は、当山の寺室になりました。

近寄って見ると、さまざまな形をしたパズルのようなものがひしめき合っているだけに、少しずつ離れていくと見ると、それが「釈尊」の像として浮かび上がってくる。見る人誰もが不思議に思う「釈尊三休像」であり、コンピューターが造り出した芸術作品です。

その一尊の大きさは、縦九十センチ、横六十センチであって三休横に並んでいる。機会があれば是非見ていただきたい作品です。

ア

アップル社を創業したジョブズ氏にも苦難の時代があったようです。自ら創業した会社を追われ、経営不振となるや、また復帰して次々とヒット商品を世界に送り出しました。この時期をイケダは共に戦っていたのかも知れません。ジョブズ氏の残した、「ハングリーであれ、愚か者であれ」

「他人と違った考えをする勇氣」

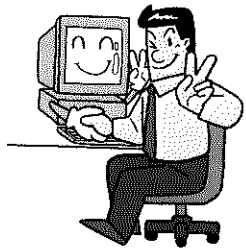
「世紀が生んだ時代の寵児のシンブルなことばでした。テレビやラジオでよく耳にする成功された経営者のことばにも、

「人のやらない、難しいこと、困難なことをやれ」

があります。」「愚か者であれ」とは聞いたことがありません。

「物作りは現場がトップセールスマン」、これもテレビを見て聞いた言葉です。私は皆様とは対極にあつて、じつに生産性のない仕事に就いていますが、今日のテーマの「物を作る」ところ、人を支えるところ」では、共通するものがあると思っております。皆様から作られる物は形あるもの、人のところは目に見えないものです。物を作るところは、技術力、開発力、向上心、それにポリシー。人を支えるところは、温かさ、おもいやりであつたり、時に叱咤激励する厳しい愛情かもしれません。(次号につづく)

「YMクラブHP リニューアルについて」



有限会社東蒲機器製作所 営業技術課課長
高橋 俊樹

いよいよ11月11日に、YMクラブのホームページ（以下HP）が新しくリニューアルして一般公開となりました。皆様もうご覧いただけましたか？

私は、渡辺幹事長の下総勢6名による「HPリニューアル委員会」の一員として、6月末からの打合せからその構成に微力ながら携らせて頂いただけに、新サイトを拝見したときは、感慨がひとしおでした。

さて、今回のHPのリニューアルで以前とどのように変わったのか、幾つかポイントをご紹介します。

まず1つ目は、会員企業の業種や特徴をすぐに検索することができるようになりました。トップページのキーワード欄の様々な語句の中から気になる言葉をクリックしてみてください。すると、関連した設備や技術を持った企業がすぐにアップされます。

これにより、今まで上から順番に探していく手間が省け、瞬時に知りたい企業が見つかる仕組みになり外部からの閲覧者の利便性が向上しました。

そして、もう1つは「twitter（ツイッター）」の機能が新しくプラスされました。twitterとは、簡易型の日記（ブログ）で、「呟き」とも言われていますね。

3月11日の東日本大震災の時、停電の影響で自治体のHPが閲覧できなくなったり、情報の取得が極めて困難になりました。そのときに大活躍したのがこのtwitterです。twitterに呟くと、瞬時にその情報はタイムラインにアップされ全世界に発信されます。しかも140文字という限られた文字数の為、よりの確で無駄のない安否情報や交通機関の情報が得られたのです。

このtwitterを利用して、会員間の交流や自社のアピール、あるいはイベントの案内や緊急時対応等を呟くことによって、当会全体の活性化に一役買ってくれることを期待しております。

その他にも、月例会や幹事会の様子を「News」としてアップしたり、会員募集欄やお問合せ欄がわかりやすくなっていたりと、デザインだけでなく様々な機能が「進化」しております。情報発信型の新しいHPを私も大いに活用させていただきたいと思っております。

最後に、この様な貴重な経験をさせて頂きました事に幹事長、委員の皆様、そして枯山水の中嶋社長様に深く御礼申し上げます。

意識でした。
燕三条地区は、「自社製品」を持つ企業が多く、商品の売り方や、価格設定を当然のこととして考えているようでした。一方、我々大田区の企業は、「つくる」ことは得意とするところですが、最終製品の「部品」の製作であることが多く、販路や価格交渉の幅が限られている場合が少なくありません。言ってみれば、「B to B」の大田区と「B to C」の燕三条の違いといふところでしょうか。
ただ、こういったことを考えていると、「やっぱり自社製品がないと」となってしまいがちですが、そう簡単には自社製品は創り出せません。ですが、日本の、世界の優良企業が必ずしも自社で最終製品を製作しているわけではありませぬし、その多くの企業が価格競争に巻き込まれず、しっかりと利益を出しています。つまり、ビジネスモデルそのものを考えずとも、お客様から固有名詞で依頼をいただくためには何かが必要か？をより意識し、私たちに私たちがなりの「売り方」を探していくことで一つの未来が切り開けるのではないかと思います。
円高、震災、欧米の金融危機、そしてタイの洪水など、決して楽な状況ではありませんが、私たちはただ生き残るだけでなく成長を目指して頑張りたいと思います。



株式会社昭和製作所
取締役副社長

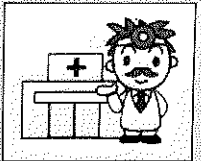
舟久保 利和

新潟県燕三条市
工場見学

去る、二〇一一年十月十四・十五日、YMクラブの月例会で、燕三条地区の企業様・施設を訪問してまいりました。そこで何より強く感じたことは、「売る」ことに関しての高

事業主の皆様へ

労働保険事務組合をご存じですか？



「労働保険料の徴収等に関する法律」に基づき、厚生労働大臣が認可した団体で、本来事業主が実施すべき労働保険事務（雇用保険・労災保険）を、事業主に代わって行なうことができる団体のことを言います。

当（社）大森工場協会もこの制度の認可を受け、協会の一大事業として、会員各位の経営管理の一翼を担っております。

労働保険事務組合に委託できる事務は

雇用保険・労働保険の加入手続きから、労働者を雇用した場合の届出や、労働者が離職した場合の届出、その他保険料の納入に至るまで、労働保険全般にわたり事業主に代わって手続きします。

- その主要なものは、次のとおりです。
- ①概算保険料、増加概算保険料、確定保険料の申告、納付
- ②保険関係成立届（雇用保険・労災保険の加入）、任意加入の申請手続き
- ③労災保険の特別加入申請・変更・脱退等の手続き
- ④雇用保険の被保険者に関する届出等の提出手続き
- ⑤その他、労働保険の適用徴収に関する申請、届出及び報告等の手続き

労働保険事務組合に委託するには

至って簡単、当事務組合に申し出ただき、「労働保険事務委託書」に記入していただくだけで、委託手続きは終了です。

労働保険事務組合に委託した場合のメリットは

- ①煩わしい事務処理が不要になり、事業主の事務負担が軽減されます。また、委託料も低く設定されているので経費負担も節減できます。（概算保険料額の5.5%）
- ②労災保険に加入することがきかない、事業主や会社役員、家族従業員等も特別に加入することができます。（月額最高60万円の労災補償）
- ③労働保険料は、金額の多少にかかわらず、年3回に分けて納入することができます。

お申し込み相談窓口

労働保険のことなら、何でも！
 （社）大森工場協会 労働保険事務組合へ
 TEL 03-3771-4744 FAX 03-3772-9340

<p>*工業計器及び工業計器部品の製造販売*</p> <p>株式会社 山陽計器製作所 代表取締役 山田 健嗣 大田区大森北 6-19-21 TEL. (3765) 7481 FAX. (3768) 1930</p>	<p>*精密金型設計製作・金属プレス・プラスチック射出成形加工*</p> <p>株式会社 吉野電機 代表取締役社長 吉野 隆重 大田区大森西 2-15-24 TEL. (3761) 4923 FAX. (3766) 6089 茅野工場 長野県茅野市湖東3912 長峰工場 長野県茅野市宮川11100</p>	<p>*精密機械部品加工*</p> <p>株式会社 ワタナベ 代表取締役 渡邊 正成 大田区大森中 3-8-23 TEL. (3761) 0303 FAX. (3761) 0645</p>
<p>*鉄道車両部品製造販売*</p> <p>株式会社 本州機器製造所 代表取締役 松永 一郎 本社 大田区中央 8-4-9 TEL. (3752) 5637 FAX. (3752) 7716 工場 大田区久が原 5-2-15 TEL. (3752) 2301(代) FAX. (3755) 9124 URL: http://www.honsyukiki.co.jp</p>	<p>*計測制御システム*</p> <p>有限会社 宇根元工作所 代表取締役 宇根元 敬 大田区大森西 4-9-10 TEL. (3763) 2531(代)</p>	<p>*精密鋁金、NC ターレットパンチ、アルミスポット溶接*</p> <p>株式会社 山形製作所 代表取締役 小林 忠 大田区大森西 1-17-28 TEL. (3768) 1166 FAX. (3765) 0589</p>
<p>*鉄道車輛部品製作販売*</p> <p>株式会社 窪田製作所 代表取締役 岩掘 隆 大田区大森本町 1-10-7 TEL. (3765) 7301 FAX. (3765) 7370</p>	<p>*油圧機器部品*</p> <p>株式会社 久我製作所 代表取締役 久我 洋子 大田区大森東 2-19-18 TEL. (3763) 7601(代) FAX. (3761) 4270 E-mail: kugaseisakusho@voice.ocn.jp</p>	<p>*空間を活かし、価値を創造する！* お客様のニーズを、アイデアをかたちに！</p> <p>株式会社 旭製作所 代表取締役 丸山 昌輝 〒143-0015 大田区大森西 1-19-9 TEL. (3763) 1741 FAX. (3763) 1743 E-mail: mer-maru@asahi-ss.co.jp URL: www.asahi-ss.co.jp</p>
<p>*自動半田付ロボット&ユニット* FA システム・電気機器設計製作</p> <p>株式会社 津々巳電機 代表取締役 和田 紘司 大田区大森西 4-14-16 TEL. 03(3766) 5311(代) FAX. 03(3766) 4480 URL: http://www.tsutsumi-elec.co.jp</p>		<p>*各種非破壊検査用試験片・各種材料試験用試験片*</p> <p>株式会社 昭和製作所 代表取締役 舟久保 利明 大田区大森西 2-15-15 TEL. (3764) 1621(代) FAX. (3764) 1626 URL: http://www.showa-ss.jp E-mail: funakubo@showa-ss.jp</p>
<p>*レーザー・ベンダー加工*</p> <p>有限会社 尾熊シャーリング 代表取締役 尾熊 禧栄 〒144-0056 大田区西六郷 4-35-13 TEL. (3733) 6977 FAX. (3739) 0903 E-mail: yu-ogumashearing@nifty.com URL: http://www.ogumashearing.co.jp</p>		<p>*各種自動調整弁、安全弁、伸縮継手*</p> <p>フシマン株式会社 代表取締役社長 藤島 建夫 大田区東海 3-8-2 TEL. (5755) 7850 TSKビル4F FAX. (5755) 7862 URL: http://www.fushiman.co.jp</p>
<p>省力化機器 各自動機器加工組立 * MC, NC, 精密部品 機械加工製作 * 横中ぐりMC 加工範囲(巾)1500×(長)2000</p> <p>株式会社 ヨシザワ 代表取締役社長 吉沢 俊男 大田区中央 8-41-8 TEL. (3753) 9911(代) FAX. (3753) 9914 E-mail: kk-yoshi@f5dion.ne.jp</p>		<p>*高圧用配管継手、座付エルボ、ユニオン 他*</p> <p>トキワ精機株式会社 代表取締役社長 木村 洋一 大田区大森東 2-14-12 TEL. (3762) 5511(代) FAX. (3763) 9144 E-mail: t-post@tokiwa-seiki.com</p>
<p>*民生用電気機器等の製造*</p> <p>株式会社 吉田金属製作所 代表取締役 大宮 光太郎 大田区京浜島 2-12-20 TEL. (3790) 1191 FAX. (3790) 1196</p>		<p>*各種電気鍍金加工・地球儀製作*</p> <p>株式会社 池田車輻製作所 代表取締役 池田 潤一 大田区京浜島 2-2-5 TEL. (3790) 2222 FAX. (3799) 3399</p>
<p>*金属精密挽物切削加工電機電子部品製作加工*</p> <p>有限会社 矢澤製作所 代表取締役 矢澤 靖興 大田区大森北 3-32-29 TEL. (3761) 2537 FAX. (3762) 1870</p>		<p>*機械加工全般 NC・MC・汎用*</p> <p>有限会社 東蒲機器製作所 代表取締役 高橋 直一 本社工場: 〒144-0031 大田区東蒲田 1-13-10 TEL. (3731) 7056 FAX. (3735) 3477 新潟工場: 〒953-0054 新潟市西蒲区漆山8571-1 TEL. 0256(72)1316 FAX. 0256(72)1327 E-mail: nt-can@waltz.plala.or.jp</p>
<p>*紙容器成形定量充填機・均質機製造*</p> <p>深尾精機株式会社 代表取締役 中井 富士夫 大田区大森中 3-20-18 TEL. (3766) 1100(代) FAX. (3767) 1425</p>	<p>*銅合金鋳物製造業*</p> <p>有限会社 神崎鋳工所 代表取締役 神崎 国雄 大田区大森中 1-19-7 TEL. (3761) 4595 FAX. (3764) 9770 E-mail: kan-cast@galaxy.ocn.ne.jp</p>	<p>*計器用軸受製造*</p> <p>東京メートル株式会社 代表取締役 上杉 信雄 大田区大森東 2-1-7 TEL. (3761) 4505</p>
<p>*厨房製品製造販売・注文製作品*</p> <p>有限会社 美濃製作所 代表取締役 穂波 美夫 大田区京浜島 2-18-1 TEL. (3790) 2531(代) FAX. (3799) 0750</p>	<p>*自動車タイヤゲージ製造販売*</p> <p>旭産業株式会社 代表取締役社長 山田 浩範 大田区池上1-22-13 TEL. (3751) 6124 FAX. (3754) 4343</p>	<p>株式会社 村田精機製作所 代表取締役 村田 忠夫 大森南工場 〒143-0013 大田区大森南 2-5-8 TEL. (3745) 2161 TEL. 050(5540) 6256 FAX. (3743) 8144 本社工場 〒144-0032 大田区北栂谷1-1-5 TEL. 050(5540) 6257 FAX. (3745) 2169 森ヶ崎工場 〒143-0013 大田区大森南5-6-2 TEL. (5913) 9631 FAX. (5913) 9632 E-mail: murataseiki.ss@mx2.ttcn.ne.jp</p>

<p>*機械部品加工・軸受等*</p> <p>有限会社 丸進製作所</p> <p>代表取締役 菅野 照夫</p> <p>大田区西六郷 2-45-11 TEL. (3736) 5693 FAX. (3736) 5688</p>	<p>ステンレス金網・パンチングメダル * 洗浄カゴ・半田付加工 *</p> <p>有限会社 田中金網製作所</p> <p>代表取締役 田中正一</p> <p>大田区中央 3-12-7 TEL. (3775) 7979 FAX. (3775) 6062</p>	<p>*金属機械加工, ビデオ・オーディオリール* ISO9001・14001認証取得</p> <p>三力工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 入澤 英明</p> <p>大田区大森中 2-7-6 TEL. (3763) 8411(代) FAX. (3763) 8415</p> <p>E-mail: eclipse@sanriki.com URL: http://www.sanriki.com</p>	
<p>*精密機械設計, 製作・一般部品*</p> <p>有限会社 伊藤機工</p> <p>代表取締役 伊藤 豊</p> <p>大田区大森西 1-19-10 TEL. (3766) 3250 FAX. (3768) 4909</p>	<p>*銘板*</p> <p>東京ネームプレート株式会社</p> <p>代表取締役社長 斎藤 勝治</p> <p>大田区大森東 4-34-14 TEL. (3764) 3611(代) FAX. (3764) 3614</p>	<p>*食品機械製造販売*</p> <p>サンフード機販株式会社</p> <p>代表取締役 朝日 利安</p> <p>大田区大森中 1-20-20 TEL. (3764) 0345(代)</p>	
<p>*精密機械・重量物輸送・物流コンサルティング*</p> <p>株式会社 オフィス・フロンティア</p> <p>代表取締役 伊藤 和弘</p> <p>大田区大森北 4-7-1 守屋ビル203 TEL. (3761) 9900 e-mail: info@office-frontier.co.jp</p> <p>物流・輸送のお悩みは弊社へご相談下さい</p>	<p>工業用バグバンド製造 * フォークリフト用バッテリー再生 *</p> <p>有限会社 川村製作所</p> <p>代表取締役 川村 有史</p> <p>大田区大森東 4-22-4 TEL. (3761) 4541 FAX. (3766) 3541</p> <p>E-mail: kawamura@am.wakwak.com</p>	<p>*軟質プラスチック・キャップ&コーティング* 防錆・防食・防塵・保護に最適!ご相談下さい</p> <p>株式会社 エポゾール</p> <p>代表取締役 吉田 利樹</p> <p>大田区東靴谷 6-4-17 TEL. (3745) 2651 FAX. (3745) 1580</p> <p>URL: http://homepage3.nifty.com/epsol/</p>	
<p>*高級焼付塗装・パーカーライジング*</p> <p>有限会社 さつま塗装工業所</p> <p>代表取締役 辻 四郎</p> <p>大田区大森東 4-31-3 TEL. (3761) 6014(代) FAX. (3761) 6005</p>	<div style="text-align: center;">  <p>謹んで新春のお慶びを申し上げます</p> <p>平成二十四年 元旦</p> </div>		<p>アーク及び半自動溶接 * 各種ロー付・ステライト溶着 * 溶断形切・鍍金加工・アルゴン溶接</p> <p>有限会社 高橋酸素工業所</p> <p>代表取締役 高橋 勇司</p> <p>大田区大森南 3-15-12 TEL. (3744) 5545</p>
<p>*機械部品一般・ネジ加工*</p> <p>有限会社 茂根製作所</p> <p>代表取締役 大崎 隆久</p> <p>大田区中央 2-22-18 TEL. (3771) 8321 FAX. (3771) 8367</p>			<p>*精密スプリング製造*</p> <p>小松ばね工業株式会社</p> <p>代表取締役 小松 節子</p> <p>大田区大森南 5-3-18 TEL. (3743) 0231(代) FAX. (3743) 0235</p> <p>URL: http://www.komatsubane.com</p>
<p>*精密金型・順送・単型・製造・プレス加工*</p> <p>東京金属工業株式会社</p> <p>代表取締役 中島 英夫</p> <p>大田区京浜島 2-13-10 TEL. (3790) 2929 FAX. (3790) 2888</p> <p>URL: http://www.tokyo-kinzoku.co.jp/ E-mail: h.nakajima@tokyo-kinzoku.co.jp</p>			<p>*各種パイプ曲げ加工・関連加工*</p> <p>株式会社 平川製作所</p> <p>代表取締役 柳 沢 重次郎</p> <p>大田区大森西 2-17-14 TEL. (3764) 1388 FAX. (3768) 1939</p> <p>URL: http://www.hirakawa-ss.co.jp/</p>
<p>*総型省力化切削工具・加工製作・コーティング* ドリル・エンドミルカッター等研磨</p> <p>大志技研株式会社</p> <p>代表取締役 斉藤 勝</p> <p>本社: 大田区大森西 1-19-15 TEL. (3762) 4351 FAX. (3767) 0280 千歳工場: 千歳市流通1丁目2-5 TEL. 0123 (40) 6181 FAX. 0123 (40) 6184</p>	<p>NC旋盤・マシニングセンタを中心に* ものづくりをトータルコーディネート</p> <p>堀越精機株式会社</p> <p>代表取締役 堀越 秀昭</p> <p>〒143-0015 大田区大森西1-16-1 TEL. (3761) 5533 FAX. (3763) 7821</p> <p>E-mail: hideaki@horikoshi-seiki.co.jp URL: http://www.horikoshi-seiki.co.jp</p>	<p>*各種自動弁製造*</p> <p>ティヴィバルブ株式会社</p> <p>代表取締役 竹内 栄多</p> <p>大田区大森東 4-33-8 TEL. (3763) 4311(代) FAX. (3763) 4317</p> <p>URL: http://www.tv-valve.com/ E-mail: hidekazu.takeuchi@tv-valve.com</p>	
<p>*極細物の精密 NC 加工及び MC・研削加工*</p> <p>株式会社 渡辺精機</p> <p>代表取締役 渡辺 穰</p> <p>本社 大田区大森西 2-9-6 TEL. (3761) 7535(代) FAX. (3761) 6450 第二工場 大田区萩中 3-14-17 TEL. (5735) 7511(代) FAX. (5735) 7512</p> <p>E-mail: iyy@watanabeseiki</p>	<p>*ガス・水道配管工事用特殊工具・装置の開発・製造・販売* ISO9001・14001認証取得</p> <p>オオサキ 大肯精密株式会社</p> <p>代表取締役 大崎 和夫</p> <p>大田区仲池上 2-19-6 TEL. (3755) 3311(大代表) FAX. (3755) 1918</p> <p>営業所 (東北・関東・東海・関西・九州)</p>	<p>*合成樹脂機械加工*</p> <p>堤工業株式会社</p> <p>代表取締役 栗原 良一</p> <p>大田区池上 5-8-20 TEL. (3752) 2347(代) FAX. (3755) 8295</p> <p>E-mail: tutumi-kougyou@nifty.com</p>	
<p>*建設業*</p> <p>三ッ木建設工業株式会社</p> <p>取締役会長 石井 美行 代表取締役 鈴木 彰</p> <p>大田区山王 3-27-5 TEL. (3772) 7101 FAX. (3772) 7105</p> <p>URL: http://www.mitsugikensetsu.co.jp/</p>	<p>*モーター用ブラシ, 精密切断用カーボンマウント*</p> <p>三光カーボン株式会社</p> <p>代表取締役 森崎 眞洋</p> <p>大田区大森西 2-18-5 TEL. (3763) 9131(代) FAX. (3766) 5441</p>	<p>*非鉄金属材料加工販売*</p> <p>株式会社 大成</p> <p>代表取締役 石倉 政雄</p> <p>大田区京浜島 2-3-15 TEL. (3790) 4611 FAX. (3790) 4618</p> <p>E-mail: keihin@office@taisei.org</p>	
<p>*外科・内科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・リハビリ科*</p> <p>創業91周年 医療法人財団 安田病院</p> <p>院長 安田 雄一郎</p> <p>大田区大森北 1-11-18 TEL. (3761) 1023</p>	<p>**制御盤・測定器*</p> <p>都南電機株式会社</p> <p>代表取締役 加賀 省吾</p> <p>大田区大森西 1-9-5 TEL. (3763) 1331(代) FAX. (3763) 1671</p>	<p>*マシニング加工* アルミと銅ならなんでもどうぞ</p> <p>有限会社 平林製作所</p> <p>代表取締役 平林 孝博</p> <p>大田区大森東 2-26-25 TEL. (3761) 1150 FAX. (3761) 1029</p>	

プラスチック用精密金型
設計・製作・修理改造 焼入型経験豊富

株式会社 木村製作所
代表取締役 谷口 敏子
大田区大森西 2-15-22 TEL. (3761) 8403
FAX. (3762) 7367

個人・グループ・団体様 大歓迎の『旅行屋』です!

東京インテックス株式会社
東京都知事登録旅行業 第2-3046号
代表取締役 久保木 美帆
〒143-0024 東京都大田区中央1-19-1
TEL. 03 (3773) 1321 FAX. 03 (3778) 3376
E-mail: mk-intex@fj9.so-net.ne.jp


あいおい損保 代理店 **秀歌**
あいおい生命
椎野 泰史
大田区中央 2-11-10 大森工業会館4階
TEL. (5718) 2911
FAX. (5718) 2912

* 共済保険 *

財団法人 **全国中小企業共済財団 (全共済)**
理事長 渡邊 信夫
千代田区平河町 1-4-12 TEL. (3264) 1511(代)
FAX. (3239) 1978
<http://www.zenkyosai.or.jp>

安い掛金で広範な保障

病気死亡・障害 災害障害
災害死亡・障害 災害入院



謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成二十四年 元旦

* 各種印刷、ホームページ作成 *

城南印刷工芸株式会社
代表取締役 山岸 政弘
大田区中央 8-5-1 TEL. (3752) 3391
FAX. (3754) 1729

* HACCP高度化基準認定工場 *

都南工業給食協同組合
理事長 小倉 康弘
〒144-0045 大田区南六郷 3-15-1
TEL. (3732) 7451 (代)
FAX. (3735) 8376
URL: <http://www.tonanq.com>

* 総合火災共済・自動車総合共済 *

とうきょう共済
東京都火災共済協同組合
東京都中小企業共済協同組合
理事長 飯島 玲光
中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 2階
TEL. (3542) 0271
FAX. (3545) 8606
<http://www.tokyo-kyosai.or.jp/>

営利を目的としない
中小企業者のための共済組織です

営業品目

定食弁当 学校弁当・幼稚園弁当
特別弁当 委託給食
折詰弁当 出張料理
オードブル

ご予算に応じ各種調製と季節により材料の調製をいたします。

* ISO取得や管理システムのお手伝い *

KS コンサルタント
代表 金澤 暎
川崎市中原区今井南町 430 TEL/FAX 044(722) 1820
E-mail: ekanazawa@mx1.ttcn.ne.jp

* 消防用設備設計・施工・点検 *

三進防災株式会社
代表取締役 吉野 薫
大田区大森北 1-26-9 TEL. (3765) 7238
FAX. (3762) 8158

「とうきょう共済」の火災共済・自動車共済 ご加入のご案内

協会では会員に対する福利事業として、とうきょう共済の代理所となって火災共済保険と自動車総合共済保険への加入をお勧めしております。平成22年度末現在の火災共済の加入状況は、56社(87件)、27億6,340万円の加入をいただいております。皆様すでにご承知いただいているところですが、「とうきょう共済」は、他の損保の保険等とは異なり、中小企業のみを対象として、共済の観点からも利益の追求を目的としない仕組みとなっております。

とうきょう共済の担当者と協会が一体となって、サポートをしています。是非ご検討をいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

火災共済

- 1. 非営利団体のため安い掛金**
一般の火災保険に比べスリムな掛金の為、経費節減が出来ます!! ※条件により異なる場合があります。
- 2. 剰余金を還元**
決算の結果、剰余金が生じ、その契約が無事故の場合、利用分置配当で還元致します。
(平成22年度5%配当割戻し!)
- 3. 万一のときも、共済金の支払いは迅速かつ有利**
※事故の内容により、お時間を頂く場合があります。
- 4. 協会が窓口(代理所)ですので安心**
中小企業者専門の都内唯一の共済組織です。

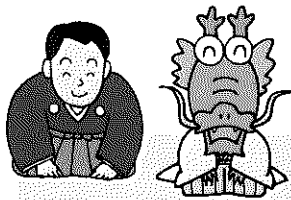
自動車総合共済

- 1. 国内損保よりも掛金が安く経費の削減**
※条件により異なる場合があります。
 - 2. 自動車保険の無事故割引はそのまま継承**
 - 3. 各種お得な割引**
 - 4. 早くて親身な事故処理サービス**
★万一の事故の場合、事故処理の専門家が迅速に相手と対応します。
★加害事故では最後まで示談交渉を行います。また、被害を受けた事故の場合は、解決へのアドバイスを致します。
 - 5. 特別の見舞金制度**
(対物事故で3万円以下支払いは、翌年の掛金は上がりません。)
- (元受 全国中小企業共済協同組合連合会)

とうきょう共済

東京都火災共済協同組合
東京都中小企業共済協同組合

〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目10-18
東京都中小企業会館2階
TEL 03(3542)0271
FAX 03(3545)8606
URL <http://www.tokyo-kyosai.or.jp/>



平成24年 新年賀詞交歓会のご案内

謹啓 師走の候 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は協会運営に対しまして格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本の総人口は前回(2005年)調査比37万人減少し1億2500万人となり少子高齢化現象が顕在化し、今や世界トップの長寿国となってきました。出生率の低下、医療技術の進歩、介護支援による福祉事業、生活環境の質の高度化等が主な要因でありましょう。今後ますますの少子高齢化時代を迎えるにあたり、夢をもって仕事・生活ができるよう医療技術の進歩・発展に期待しつつ、中小企業のものづくり専門分野においては、ノウハウ、技術力を結集及び発揮することにより医療機器の開発に携わり、医工連携による共同研究事業への取り組みを模索したいものです。

新年を迎えるにあたり、会員相互の賀詞交歓、情報交換の場としまして、下記より新年恒例の賀詞交歓会を開催致します。
年頭の折皆様にはご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上多数ご参加賜りますようお願い申し上げます。

開催日時 平成24年 1月25日(水)
午後6時30分開演

参加費 6,000円(ご同伴者は3,000円)
当日会場にて申し受けます。

会場 大田文化の森 5階 多目的室

その他 カプセルクイズには豪華賞品を準備しております。

■プログラム 第一部 新春講演会

講師 東京労災病院 脳神経外科部長

氏 家 弘 先生

演題 脳神経外科の最前線に立つ

“医工連携”及び“不老不死”健康話

第二部 懇親パーティー

■講師プロフィール

1952年3月生まれ 北海道出身

1979年岩手医科大学医学部卒業後、
東京女子医科大学病院脳神経センター脳神経外科入局。

1987年12月同大学より医学博士号を授与、
2009年4月東京労災病院脳神経外科部長就任。

入局後専門分野における研究を行い、数々の論文を発表するかたわら、日本の医療技術だけでなくイギリス、ドイツなどの大学に留学し、自己の技術、知識の向上に努め医療や研究を続けています。

さらに、医学だけでなく物理学や工学系などの分野にも興味を示し、多種多様な才能を発揮しています。

もう十数年前になると思うが、YMクラブの企画で、立教大学原子力研究所所長の著名な原子力の専門家である服部学氏に講演をしていただいたことがある。内容はほとんど覚えていないが、一つの質問に対しての答えだけは頭の片隅にしっかりと刻み込まれ忘れることはなかった。
質問「原子力の平和利用はほんとうに可能ですか」しばらく間を置いて「もし世界中の軍事費を全てつぎ込めば可能かもしれない」という答えでした。
私はこの「かもしれない」という言葉が頭から離れなかった。人間は数千万種といわれる生命種を育む地球生態系の一構成員であることは絶対的事実です。しかし人間にはもう一つ、高等かどうかは別として、これがなくては生存できない生態系がある。それは科学技術と社会制度を基盤とした人の営みに不可欠となる「人(ひと)生態系」です。3・11東日本大震災の原発事故はこの人生態系における深刻な環境問題と捉えることができる。今人間は科学技術の進歩と市場にあまりにも万能感を持ちすぎてしまったことを、見直す時期に来ているのではないのでしょうか。完璧さとは無縁の人間は「かもしれない」といういい加減さをちよつとはましましなめるにするために、生きていくのも満更でもないと思える程度の、グローバルゼーションとは無縁の、二つの生態系の均衡を機軸とした人生態系を創る、そしてその一端を担う身近なコミュニケーション創りの中に中小企業の新たなビジネスチャンスがあるの「かもしれない」。



もうひとつの環境問題

トキワ精機株式会社 代表取締役 木村 洋一



マイブーム

株式会社上田製作所 代表取締役 上田 大輔

私の最近のマイブームは「節約」です。きっかけはリーマンショックによる不況でした。少しでも会社の経費を抑えていこうと社員に、そして自分に言い聞かせていたら自然と私生活においても「もったいない精神」が少しずつ芽生えていきました。約三年たった今でも気を付けて生活をしています。家での節電対策としては待機電力をなくすために、使用後はコンセントを抜くなどしています。また今年の夏は震災の影響もあり世の中節電傾向にありましたが、我が家もエアコンを使用したのは数回程度で、何とか扇風機で乗り切り切りました。そんなこんなで、コトコトためた甲斐あって欲しかったダウンスコートが今年の冬は購入できそうです。抑えるところはしっかりと抑えて、使うときは思い切って使うのが私なりの「節約」です。

平成23年度 永年勤続優良従業員表彰のご紹介

各賞受賞に輝いた方々

○大田区長表彰 (満15年勤続) (敬称略)

事業所名	氏名	事業所名	氏名
1 (株)昭和製作所	須山 孝洋	2 (株)旭製作所	菊地 典也

○大田工業連合会会長表彰 (満20年以上勤続)

事業所名	氏名	事業所名	氏名
1 (株)旭製作所	斉藤 邦昭	2 (株)旭製作所	本多 康利

○大森工場協会会長表彰 (満5年勤続)

事業所名	氏名	事業所名	氏名
1 (株)昭和製作所	中村 秀一	4 トキワ精機(株)	富樫 宣之
2 (株)昭和製作所	松原 貴之	5 トキワ精機(株)	榎本 好夫
3 トキワ精機(株)	大越 雅晴	6 堤工業(株)	木村 康信

各事業所において、長年に亘り企業の発展に努力し、貢献された方々を顕彰する平成二十三年度永年勤続優良従業員表彰者が選出されました。

この表彰は大田区長表彰(勤続十五年)、大田工業連合会会長表彰(勤続二十年)、大森工場協会会長表彰(勤続五年)の区分により、各事業所から申請いただいたものを関係機関に推薦し、そこでの審査を経て表彰される大変名誉な表彰であります。

今年度は、大田区長表彰に二事業所二名が、大田工業連合会会長表彰に一事業所二名が、大森工場協会会長表彰に三事業所六名が該当し、それぞれ表彰状と記念品が授与されました。

受賞された方々に改めて祝意を表するとともに、今後益々のご活躍を祈念するものであります。

なお、各事業所におかれましては、「人は企業にとっての宝」の意味合いからも事業主様には本事業の趣旨をご理解いただき、積極的に申請いただくようお願いする次第です。

就任ご挨拶

新事務局長

古 森 隆 義



っております。

平成二十三年八月から、前任者杉本事務局長のあとを受け継ぎ、就任致しました古森でございます。

六十五余年もの歴史と伝統を誇る「社団法人 大森工場協会」に勤務させて頂いたことに大変光栄に感じております。

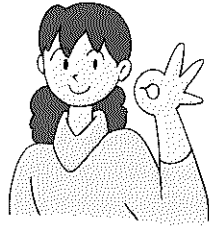
協会事業は経営技術調査研究事業、普及啓発事業、指導育成事業、労働保険事業に大別できます。これらの事業に対し一日も早く着実に全業務内容を把握、精通し事務局長として職責を果たしていくとともに会員の皆様と共に歩む努力をしていきたいと考えております。

会員の皆様方には、何卒よろしく叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

板金ガール

有限会社イデ

代表取締役 井出 貴博



我が社にも、社員が入りました。しかも、女子です。彼女は、製造業とは無縁のホテルで働いていました。

私は人に教えるのは初めてで、何から教えて良いのか戸惑いました。普段、何げなく使っている言葉も彼女には通用しません。

「原点」と、言っても「原点……?」。「これを、基準にして加工するんだよ」、「でも、穴から切り始めるんですよ。なんで原点から切り始めないの?」

なんで?なんで?の嵐です。私は、見て覚えてきたので、教える言葉を知りません。……教えるって大変です。でも覚えるのが早いのか、2日目には簡単なCADは書けるようになりまし。早く曲げのある図面を読めるようになってくれる事を期待しています。

これからも、妻には板金ガールとして頑張って貰いたいです。

【編集後記】

新年あけましておめでとうでございます。

(社)大森工場協会の会報もお蔭様をもちまして、昭和五十八年七月第一号が発刊されて以来今回で第七〇号をお届けすることができました。これも日頃会員及び関係諸氏の皆様のご協力があったからこそ続けることができましたことに、編集委員一同厚く感謝する次第です。

今回編集にあたり一部協会活動事業のうち、講演会十月二十五日実施、物を作るこころを支えるこころ……真言宗智山派 蜜乗院須佐 知行住職、講演についてすべてお届けすることが出来ませんでしたので、戴いたレシメ内容について次回会報連載にてご紹介していきたいと思っております。

▼昨年は国難ともいわれる三・一一東日本大震災の被害をうけ、震災復興・復興に向け全国民が心を一つにして取り組んできております。また震災後の急激な円高傾向により国内産業空洞化についても話題がクローズアップされてきています。適正な円相場になるには程遠いような気がします。

自動車をはじめ国内中小企業とりわけ輸出関連企業は厳しい経営環境の影響を受け業績低迷・収益悪化に陥り国内でのモノづくりは限界にきているといっても過言ではない状況にあります。私自身いままでも産業空洞化についてあまり気には止めていませんでしたが、昨年七月より発生したタイの大洪水の被害の様子が連日報道される中で驚いたことには日本企業進出の多さの実態である。いったいアジア諸国、世界各国には進出企業が何社くらい存在するのかわかりませんでした。

海外進出の要因はすべて円高の影響ではないだろうが、メリット、デメリットさまざまであろう。優秀な技術を持つ国内中小企業が安心してモノづくりに専念できるよう切に願うものです。

▼昨年中旬の読売編集に「ゆでガエル現象」というおもしろい話が載っていました。「カエルをいきなり熱湯に入れるとビックリして逃げますが、水からゆっくり熱すると心地よい気持ちになり気づかずにゆで上がり死んでしまう!!」実験結果はお湯が煮える前に暴れだして外へ飛び出したそうですが……実にユニーク話である……

現在日本経済においてTPP(貿易自由化)、税法(法人税、所得税、消費税等)、環境(温暖化ガス規制)、エネルギー(電力供給、再生可能エネルギー等)、年金、労働雇用問題等取り組まなければならない事柄がたくさんありますよ……絶えず社会環境変化への対応、旺盛なる危機意識が必要であるのかもしれない……。対応次第では「ヤケツパチガエル」になりかねない!?

▼今年夏にはロンドンオリンピックが開催されます。サッカーなどでジャパンのW杯優勝に続く快挙、日本選手の活躍が沈みがちな日本経済のカンフル剤となり勇気、希望、夢がもてるよう、デフレ経済脱却へのスタートになる新年なることを願いたいものです。

「カンパレ日本!!」

(T・K記)